

「つづいていく景色」

生命とは何か？存在とは何か？その答えは捉えにくく、曖昧なものかもしれませんが、日常を送る中で、その輪郭が微かに浮かび上がる瞬間があります。私にとって絵画制作はその瞬間を捉え表す手段です。

描くモチーフは花や静物、風景が多いですが、身近な花の姿から壮大な風景まで、主に自分が見たときにそのものの奥に時間の蓄積が感じられるものを描いています。

遥か昔から繰り返されてきた生命の循環の積み重なりに思いを馳せる時、今目の前にある一つ一つの存在が神秘的で宇宙的な意味を内包するものだとの思いが強まるからです。

一つ一つの存在が遥か昔から続いてきて、これからも続いていく世界の一部である、という感覚を大切にしたいと、本展のタイトルを「つづいていく景色」としました。この世界が前向きで幸福なものであるとの願いを作品に込められたらと考えています。

2023年3月

野崎慎